

## TOCユーザーによる実践事例発表

事例発表 1	CCPMを活用した「三方良しの公共事業」への取り組み事例	有限会社創友 代表 宮崎 洋一
<p>平成18年から約3年間で30件の公共工事にCCPMを活用した。その中で成果が得られた会社は、「コミュニケーション」、「人間関係」等が良くなり「笑顔」が増えていた。当時は、なぜ、そうなるのか分からなかった。「三方良しの公共事業」を進める建設会社で試行錯誤しながら継続していると、成果が得られる仕組みが少し見えてきた。この手順等に関して報告する。</p>		
事例発表 2	働き方改革を思考プロセスで後押しする	富士通株式会社 社会インフラビジネスグループ マネジメントセンター 事業推進統括部 竈淵 洋平
<p>報告者は現在、所属する会社が全社的に押し進めている働き方改革について、現場レベルで支援する立場で活動をしている。現場での行動の推進・活性化を支援する中で思考プロセスの基本的な構造（原因・結果・なぜならば）に着目し、推進リーダーと共に愚直に考え行動してきた中で見えてきた”活動を形骸化させず、継続し成果をつかみとる”ための方法について整理して報告する。</p>		
事例発表 3	顧客とのエンゲージメントを 高めるための人材教育 「顧客さえ知らないこと」 をどうやって知るか？ ～プロセスではない思考プロセス～	たまサポートサービス 代表 柴橋 学
<p>弊社は、クライアント企業様と共にTOCfEの3つの思考ツールの指導と現場での活用支援によって「顧客とのエンゲージメントを高める」ことを目指した人材教育プログラムに参画しています。この取り組みから、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社員さんにとって、教育プログラムをいかにして他人事ではなく自分事にしてもらうか？</li> <li>・顧客さえ知らない事を、社員さんたちはどうやって知るのか？</li> </ul> <p>といった事について、私が考えるTOC-TPの問題点や解決策とも合わせて発表します。</p>		

事例発表 4	普段使いの思考プロセス	株式会社witch&wizards 代表 森 雄哉
<p>The Goal 2で紹介された思考プロセスは効果がありそうと期待しつつも、実際にやってみると難しい思考ツールです。試すだけでも大変ですが、効果を生むにはもっと大変です。どうにかできないかと工夫し、500回以上の試行錯誤の末、簡単に、毎日使える思考プロセスとなりました。何が何に変わったのか、そして明日からできるやり方を紹介します。</p>		
事例発表5	<p>～TOCを学んで実践!!～ ”毎日が楽しくなる”全員主役の職場づくり</p>	<p>TOTO株式会社 エレクトロニクス技術本部 電子機器製造部 電子機器製造課 組長 工藤 輝邦</p>
<p>なかなか結果が出ずイライラしていた自分がTOC外部セミナーに参加し実践するうちに『あれ?』という感じで成果が出ました。なぜ短期間で成果が出たのかを考察してTOCの理解が深まりました。TOCを一言で言えば『集中!』制約に集中して改善した事でどんな問題でも解決出来る自信に繋がりました。ワークライフバランスの改善も進んだことで仲間との会話も弾み毎日が楽しい職場になりました。</p>		
事例発表 6	<p>働き方改革としてのTOC 富士通 西日本ビジネスグループ での実践事例</p>	<p>富士通株式会社 デジタルフロントビジネスグループ マネジメントセンター 事業推進統括部 シニアディレクター 天羽 千恵美</p>
<p>富士通西日本ビジネスグループ（2017年9月まで）では、2015年よりグループ全体で、TOC/CCPMをベースにした働き方改革を推進してきた。各本部長にトップ自ら意識付けをし、各本部長の意志を現場がしっかりと受けとめ目覚しい成果を上げた。本日はその中から、いくつかの成果を具体的にご説明するとともに、グループ全体の推進がうまくいった理由についても考察する。</p>		